

# 会 議 要 録

会 議 名	第22回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	平成28年6月20日（月） 午後2時～4時（2時間）		
場 所	八王子市役所本庁舎5階 502会議室		
出席者（敬称略）	委 員	早川 百合枝、岡本 雅史、中嶋 廣一、遠山 達雄、清水 栄、横山 侑亮、八代 善一郎、綿田 直樹、鈴木 麗加、内田 智、酢屋 善元、山崎 広行、鶴我 能史、朝日 裕、尾形 紀雄、小澤 篤子、廣瀬 勉 <p style="text-align: right;">計 17名</p>	計 22名
	説 明 者	（委員、事務局等）	
	事務局等	藤倉生活安全部長、宮木防犯課長、安岡主査、魚原主査、川口主任 <p style="text-align: right;">計 5名</p>	
欠席者（敬称略）	梶原 正統 計1名		
議 題	1 平成27年度 生活安全対策 事業実績報告について 2 平成28年度 事業計画について 3 平成27年における市内の犯罪発生状況について 4 各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策等について 5 その他		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次第</li> <li>● 資料1：平成27年度 生活安全対策 事業実績報告</li> <li>● 資料2：平成28年度 生活安全対策 事業計画</li> <li>● 資料3-1：平成27年12月末犯罪発生状況対比表</li> <li>● 資料3-2：八王子市内 振り込め詐欺などの特殊詐欺被害</li> <li>● 最新委員名簿</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事前配布</div>
会 議 の 内 容	（次のとおり）		
会 議 録 署 名 人	平成28年 8月 4日 署名人 綿田 直樹		

会議の内容 【 】：発言者（敬称略）

## 1 開 会

【宮木課長（事務局）】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 途中改選による新任委員の紹介及び挨拶

## 2 部長挨拶

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 日頃より委員の皆様には本市生活安全対策に様々な形でご協力を賜り御礼申し上げます。
- ・ このたび、新しく委員になられた皆様、今後ともよろしくお願ひしたい。
- ・ 本市における犯罪認知件数は、平成 12 年をピークに年々減少しており現在ではその当時の4割程度に減少している。高齢者を狙った特殊詐欺や不審者に関する情報は毎日のようにある。また、全国的にも子どもや女性を狙った事件が後を絶たず、犯罪に対する市民の不安も増しており、市としても取り組み強化に努めていく。
- ・ 来年9月に本市は市制 100 周年を迎え、今年度もプレイベントとして、多くのイベントが開催される。来年9月には富士森公園を中心として都市緑化フェアも開催されるので、人が集まる場においても細心の注意を払い事故等がないよう、対応したい。
- ・ 今回会議でも、様々な立場での意見を聞いて情報共有し、さらなる生活安全対策を向上させていきたい。

## 3 開催

【綿田会長】

- ・ ただいまより第 22 回生活安全対策協議会を開催いたします。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 欠席連絡

### ■協議会の成立

- ・ 委員総数 19 名のうち現時点で 17 名の委員が出席されており、過半数を超えたため、本協議会は成立する。

### ■情報公開

- ・ 本協議会は、条例施行規則第6条9項に基づき原則公開であるが、傍聴人なし。

## 議題1 平成27年度 生活安全対策 事業実績報告について

【安岡（事務局）】

- ・ 資料1に沿って説明。

（以下補足説明）

- ・ 3.（3）客引き・スカウト行為等防止パトロール

平成 26 年 6 月より客引きスカウト等の規制を開始。毎日警察官 OB による巡回パトロールに

加え、駅前商店会、自治会の中から選ばれた市民指導員とともに、八王子警察の協力もいただき、パトロールを実施した。(週2回 開始より延べ130回実施) 客引きしにくいまちづくりを目指した。

・ 6. (2) 八王子市防犯対策連絡会の開催

平成23年9月5日に遡るが、市と市内3警察署は「安全安心推進協働宣言」を締結している。これは市と警察との連携をさらに強化し犯罪のない住みよいまちづくりのために取り組み、各署の地域性に応じた取組みを市がバックアップするものである。各警察署とは毎年その重要課題をあげて取り組みを行っている。ここ数年は「振り込め詐欺対策」である。

## 質疑応答

【中嶋委員】

- ・ 1ページにある「2.市内全域の安全対策」の中で青色パトロールカー(通称:青パト)とあるが、これは駐車違反を取り締まることもできるのか。

【宮木課長】

- ・ 駐車違反の取り締まりは行っていない。青パトに関する補足だが、4台のうち3台は各警察署管内を巡回し、日中は注意喚起等の広報を流している。

【中嶋委員】

- ・ 今回質問したのは、以前市内にある弁当屋の前に車を停めて弁当を購入して戻ると、駐車違反で捕まってしまったという声を聞いたからである。もし青パトが取り締まりを行っているのであれば商店の販売向上も考慮し、取締を緩和してほしいと意見したかった。

## 議題2 平成28年度 事業計画について

【安岡(事務局)】

- ・ 資料2に沿って説明

(以下資料補足)

- ・ 資料にも記載されている「防犯防災フェア」に関しては、今月11日、初めて南大沢駅イトーヨーカドー前・南大沢中郷公園で行われ、南大沢署全面協力のもと開催された。八王子駅での開催と比べファミリー層の来場者が多く、ゆっくり見ていただけたという印象であった。
- ・ 2. (1) 自動通話録音機の貸与  
自動通話録音機はオレオレ詐欺をはじめとした「特殊詐欺」の被害を未然に防ぐため、東京都が「自動通話録音機」を無料で貸与し、その窓口として本市や各3警察署が配布している。貸与開始(平成27年7月)から、約880台の貸与を行なった。本市の残台数は40台程度であり、引き続き貸与していく。残台数が少なくなってきたため、高齢者安心相談センター等にも情報提供し、本当に必要な方に渡せるように配慮している。
- ・ 3. 中心市街地の客引き・スカウト行為対策  
2年任期で平成28年6月に任期満了した、「客引き行為等防止指導員」を改めて登録いただ

き、今回も 50 名程度の登録をいただいた。約週 2 回のパトロールには、5～15 名の指導員の方々にご参加いただいている。これからも健全なまちづくりを目指していく。

・ 4. 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく特定空き家に対する措置

近年の少子高齢化や核家族化に伴い空き家が全国的に問題になり、地域の生活環境を保全するため、平成 28 年度においては法律に基づき、周辺に著しく悪影響を及ぼす特定空き家等に対し、指導等の措置を行う。同時に八王子市においては、国の住宅土地統計調査によると空き家は 2 万 9 千戸あると言われている。(マンションの空き部屋含む) この空き家の活用についても今後、住宅部門と調整を行っていく予定である。

## 質疑応答

### 【早川委員】

- ・ オレオレ詐欺被害が多くて驚いている。被害に遭う方は、裕福な方が多いのか。
- ・ 銀行に対し、高齢者が高額な現金を引き出す際には、ATM ではなく、印鑑を持参し、窓口での引き出しや送金にすれば、窓口職員が気づいて、被害を未然に防ぐことができるのではないか。高齢者は、年金暮らしで仕事をしていない方が多いので、時間はたくさんある。
- ・ ライフスタイルを見直すべきである。核家族が増えている現在、家族間での絆が築けていないために、詐欺被害に遭ってしまうのではないか。
- ・ 「古き良き」が見直されてきている。扶養の義務があって孝養の義務がないのはおかしい。親切で絆のとれた市民の本来の良さを取り戻すべく、市民が頑張るべきである。

### 【宮木課長（事務局）】

- ・ 警察では金融機関と連携して対策を行い、被害を防いだケースもある。その他にもアンケートや調査票を配って、被害を防ぐ活動をしている。

### 【鈴木委員】

- ・ 早川委員の発言にあった、「高齢者の印鑑による引き出し」の件についてだが、犯罪が巧妙化しており、知り合い（弁護士）の母ですら、だまされ 800 万円の被害に遭ったと聞いている。
- ・ 詳細は、息子を装った犯人から「電車に大事な書類の入ったカバンを忘れた」、「急いで現金が必要だからタクシーで駅まで持ってきて」、さらには「銀行の窓口で口座への送金や引き出しと言うと怪しまれるから、何か聞かれたら『リフォーム代のために引き出す』と言ってね」という示唆までされた。犯人は依然捕まらず、被害額は戻らない。警察でも様々な対策等されていると思うが、私たち弁護士も巧妙化していく手口に追いつかない状況である。
- ・ 自動通話録音機の件も周りに勧めているが、中には、友人に対しても音声アナウンスが流れてしまうからとつけたがらない方もいる。

### 【早川委員】

- ・ ある作家は、お金がある人がだまされてしまうので、貧しい人に寄付をしてもらい、寄付をした方には「税額を免除」や「名誉市民」にすればいいと訴えていた。

### 【酢屋委員】

- ・ 自動通話録音機についてだが、録音されたものを実際の捜査資料として使うことも可能か。
- 【山崎委員】
- ・ 捜査資料として使うこともできるが、そもそも犯人は、「録音される」というアナウンスを聞くと、嫌がって電話がつながる前に切ってしまう。
- 【魚原（事務局）】
- ・ この機械は、「録音します」という自動音声を流すことで、犯人に警戒させるのが狙いである。
- 【藤倉部長（事務局）】
- ・ この自動通話録音機を設置した人は、設置以降詐欺に遭うことはなくなったとも聞いている。ただ、鈴木委員の話にもあったように、誰にでもアナウンスしてしまうのでそれを嫌がる人もいる。
- 【酢屋委員】
- ・ 電器量販店に、録音機能のついた電話があり、金額2万4千円であった。数百万もの被害をこれで防げれば、高くはない。
- 【藤倉部長（事務局）】
- ・ 電話機を新たに購入しない方法だと、留守番電話機能を使うと効果的である。用がある人には直接折り返し連絡する方法で、犯人と直接話さないことが重要である。
- 【綿田会長】
- ・ 知らない電話番号には出ないことも重要である。
- 【藤倉部長（事務局）】
- ・ 普段からこのような詐欺について知っていて気を付けていても、被害に遭ってしまう人が多い。

### 議題3 平成27年における市内の犯罪発生状況について

【魚原（事務局）】

資料3-1,3-2に沿って説明。

（以下補足説明）

- ・ 件数については、警察に被害届を出した件数である。
- ・ 犯罪が多かった平成12年（11,852件）をピークに、減少していき、平成27年には4,858件に至る。昨年の件数は、昭和54年と同程度の件数であるが、その当時の市内人口は39万人、現在は58万人であり、人口比率で比べると大幅に減少しているのがわかる。
- ・ 市内の犯罪の傾向としては、オートバイ盗と自動車盗が多く、学生が多い本市の特徴と言える。
- ・ 特殊詐欺における昨年の認知件数は、69件1億3千万円を超える被害があり、市の対策として、これからも啓発活動を行うほか、警察から情報があった場合には、青パトにて重点的に回り広報も行っている。

### 質疑応答

【鈴木委員】

- ・ 消費生活センターでも、統計を取っているが、これはどこからの情報なのか。また、検挙された数も含まれているのか。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 各警察署からの情報である。

【山崎委員】

- ・ 資料の中の「未遂」と書かれているのが、検挙されたものである。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 検挙されるのは、どのようなパターンが多いのか。

【山崎委員】

- ・ 「受け子」を捕まえるパターンが多い。

【鈴木委員】

- ・ 既遂（犯罪を完成させること）になってしまうと、検挙は難しいのか。

【山崎委員】

- ・ 難しくなる。

【早川委員】

- ・ 犯人はお金のある世帯とどうしてわかるのか。また、オレオレ詐欺が通用する世帯か、どうしてわかるのか。

【山崎委員】

- ・ 犯人は資産状況まではわかっていない。人によっては、借金をしても払ってしまうこともある。犯人は手当たり次第に電話をかけているので、息子の有無をわかってかけているわけではない。

#### 議題4 各警察署管内の犯罪発生状況の傾向と対策等について

【山崎委員】

- ・ 警視庁では、体感治安をはかるのに7種（①特殊詐欺②ひったくり③侵入窃盗④強盗⑤性犯罪⑥自動車盗⑦子どもに対する犯罪）の指定重点犯罪を定めている。
- ・ 7罪種の認知件数は昨日までで、64件（手集計）で、昨年比-26件（-29%）。罪種別に見ても全てにおいて前年より減少している。
- ・ 特に、重点を置いているのは特殊詐欺であり、12件の認知で、うち2件は未遂（現金を受け取りに現れた犯人及び受け子を検挙）
- ・ 内訳はオレオレ詐欺が6件、架空請求詐欺6件。1千万円以上の高額被害も発生した。架空請求に関しては、登場人物も多く、冷静になって聞くと訳が分からないことが多い。キーワードとして、「国民消費者センター」「NPO 法人青空の会」などと実在しそうな団体名を名乗り、「放射能除去装置」の購入代金等と訳の分からない文言を使い、最後には「逮捕される」「裁判になる」「刑務所に行くようになる」などと言われて不安に駆られ、だまされてしまう。
- ・ だましのキーワードを聞いて、「これは詐欺だ」とわかるような広報啓発を実施中。親族間でも、お金に関する話は詐欺と疑うくらいがよい。

### 【鶴我委員】

- ・ 高尾警察署管内での平成 28 年（6/19 現在）における犯罪認知件数は 45 件（昨年同時期-9 件）と、抑止できている。
- ・ 侵入窃盗が最も多く平成 27 年中は 68 件のうち、38%が無施錠であり、本年は無施錠対策をしており、「ゴミ出しでちょっと外に出る時もカギをかけてください」と呼びかけている。その効果か本年は 26 件（6/19 現在）のうち、無施錠は 5 件にとどまった。
- ・ 特殊詐欺は本年は 8 件（昨年同時期±0 件）であり、平成 27 年は 18 件であったので減少にとどめたい。オレオレ詐欺は劇場型が多く、「電車にカバンを忘れた」と連絡が入り、次いで、共犯の別の犯人から「遺失物センターの者だが、カバンが届いている」等、「警察官」「弁護士」等様々な人物を装う手口となっている。
- ・ 3、4月中、郵便局員、高尾署を名乗ったアポ電が多く入った。「最新のだまし文句」をいかに市民に伝えるかが重要であると考える。

### 【朝日委員】

- ・ 南大沢警察署管内のうち8割が八王子市、その中で唯一増加している特殊詐欺は 14 件（+7 件）、被害額 5 千 5 百万円であり、このペースで増え続けると、1 億円を超えてしまうので対策を講じたい。
- ・ 子どもや女性を狙った犯罪については、強制わいせつ 6 件（前年比+5 件）は、1 名検挙した。公園内における犯罪は下校時の午後 2 時から午後 5 時が多く、小中学生が狙われている。
- ・ 公然わいせつは、昨年 66 件であったのが、5 月末現在で 22 件。
- ・ 対策としては、防犯カメラの設置をなんとかしたい。これがないと犯人検挙に至らない。かつては防犯カメラの設置に関しては「見張られている」から、「見守り」に市民の意識も変化しているが、警察からだともまだ「見張り」の要素が強いようである。
- ・ まだまだ設置台数が少ないため、犯罪抑止のために住民からも声をあげてもらいたい。

## 質疑応答

### 【岡本委員】

- ・ 防犯カメラの設置が少ないという話があったが、そもそもどこにどれだけ設置されているかも知らない状況であり、声の上げようがない。
- ・ 南大沢にある公園前のおりが暗く、女子学生が通行することも多く危ない。そのような場所では、カメラがあっても映らないのではないか。
- ・ 東日本大震災があった時は、何日も真っ暗だった。遅い時間帯に通行すると危険なので、警察に街灯を点灯させる等改善を依頼したが、「市に言ってほしい」と言われ、さらに市の公園課に依頼してもなかなか改善されなかったが、市議会議員に依頼したところすぐに街灯が点いた。この体制はおかしい。これが警察の問題か市の問題かわからないが、これでは、まちの安全は保てない。
- ・ 以前、小山内裏公園（町田市小山ヶ丘二・四丁目、八王子市南大沢四・五丁目、鑓水二丁目）で喧嘩を目撃した。公園内を横切る通行人にとっては危険である。ちょうど市境にある公園で

管理は、町田市と八王子市と東京都らしいが、そのことを南大沢駅前の警察官に伝えたところ、3人そろって公園の場所すら知らないし、管理体制に不安を感じる。その後2人警察官が増えたが、その2人も公園を知らなかった。そのような感覚では安全は守れない。南大沢に限ったことではないが、そのような実態を知ったうえで、カメラを設置する等考えてほしい。事件が起こる前に気を配り対策を講じてほしい。

【中嶋委員】

- ・ 以前、防犯課に対し防犯カメラの助成金を求め声を上げた。その件は改善されたのか。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 今年度、産業政策課が要求した商店街に対する防犯カメラ補助金については、予算がついている。来年度は、防犯課としても町会自治会用に補助金を出せるよう検討している。東京都で補助制度を作っているのので、できる限りのことはしていく。

【廣瀬委員】

- ・ 今年が市内の小学校通学路に5台設置するという事業が完了する年になっており、残すところ南大沢署管内のみとなっている。合わせて昨年から小中学校校門にも、各校1台設置の方向で進めている。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 警察からの防犯カメラ設置に関する要望は以前からもいただいている。人通りの少ないところ、公園等、市が設置する防犯カメラについて検討していきたい。

【中嶋委員】

- ・ 制度がないと聞いたら、町会自治会は全額負担しかないが、その予算はない。

【朝日委員】

- ・ 設置には60～100万円の費用がかかる。

【中嶋委員】

- ・ より安い価格で設置可能ではないか。自分の町会はその予算より安く、精度のいいカメラを2台設置できた。
- ・ 今回設置し、抑止効果で不審な出来事がなくなった。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 予算はこちらで検討します。

【朝日委員】

- ・ 光も犯人は嫌がるので、感応式のライトでも効果がある。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 金額はさまざま安いものだと、数万円からある。その違いはアナログ式かデジタル式か、また画素数の違い等によっても金額が変わってくる。

【廣瀬委員】

- ・ 通学路に防犯カメラを設置していく中で、トラブルもあった。住民によっては「どうして自分の家の前に設置するのか」「見張られているようだ」という声もあり、頭を痛めている。

【中嶋委員】

- ・ 公園の照明は、午後10時に消える設定になっている。

【岡本委員】

- ・ 午後10時以降に照明が消え、犯罪はそれから起きることが多い。公園課と相談してみてもどうか。

## 議題5 その他

【宮木課長（事務局）】

- ・ この議題の中で、みなさんに防犯カメラについて、御意見をうかがう予定でしたが、先ほどご意見がありましたので、結構である。

【早川委員】

- ・ きたない所に犯罪は発生しやすいと以前勉強したことがあるので、日々家の周りをきれいにしている。以前、シルバー人材センターに道路の植え込みの草取りや剪定を頼めないかと聞いたが、予算の関係で叶わなかった。先日アドプト制度を知り、5名のボランティアを探しているが、なかなか集まらない。市の管理の植え込みも新学期に合わせて、きれいに剪定をしてほしいと思っている。

【中嶋委員】

- ・ 今早川委員が困っている、その植え込みとはどこなのか。

【早川委員】

- ・ どこというよりは、市内中の植え込みをきれいにすれば、犯罪がなくなると思っている。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 街路樹に関しては、定期的に道路管理者が剪定等の管理をしているが、植え込みについては、アドプト制度として地域の方に御協力をお願いしている。

【早川委員】

- ・ 最近テレビで見たのだが、離婚後に再婚可能になるまでの期間が短縮された。それを見て、シングルマザーの子どもへの支援ができないかと考えるようになった。孤食をなくすために、ボランティアを集めて子ども食堂をやってほしい。

【小澤委員】

- ・ 市内でも1か所学生が行っているところ（東町）があり、今後も元本郷町や横川町で展開していく方向で進んでいる。決まったことに関しては、広報にて紹介していく。
- ・ シングルマザーへのボランティアについても「bee ねっと」が行っている。子ども食堂については市で実施するのではなく、事業者、団体があるのでそこにもこの件については、情報提供しておく。

【早川委員】

- ・ 高齢者も就労し、働く姿を見せることが大事。たとえば、市の木を活かした、木製の玩具や炭や竹細工制作を進めて、次世代に残してはどうか。また、巷には中国産の製品があふれているので、耕作放棄地に綿を植えて、織物も次世代に残していければよいと思う。

#### 4. 閉会

【綿田会長】

- ・ これで、第22回八王子市生活安全対策協議会を閉会いたします。